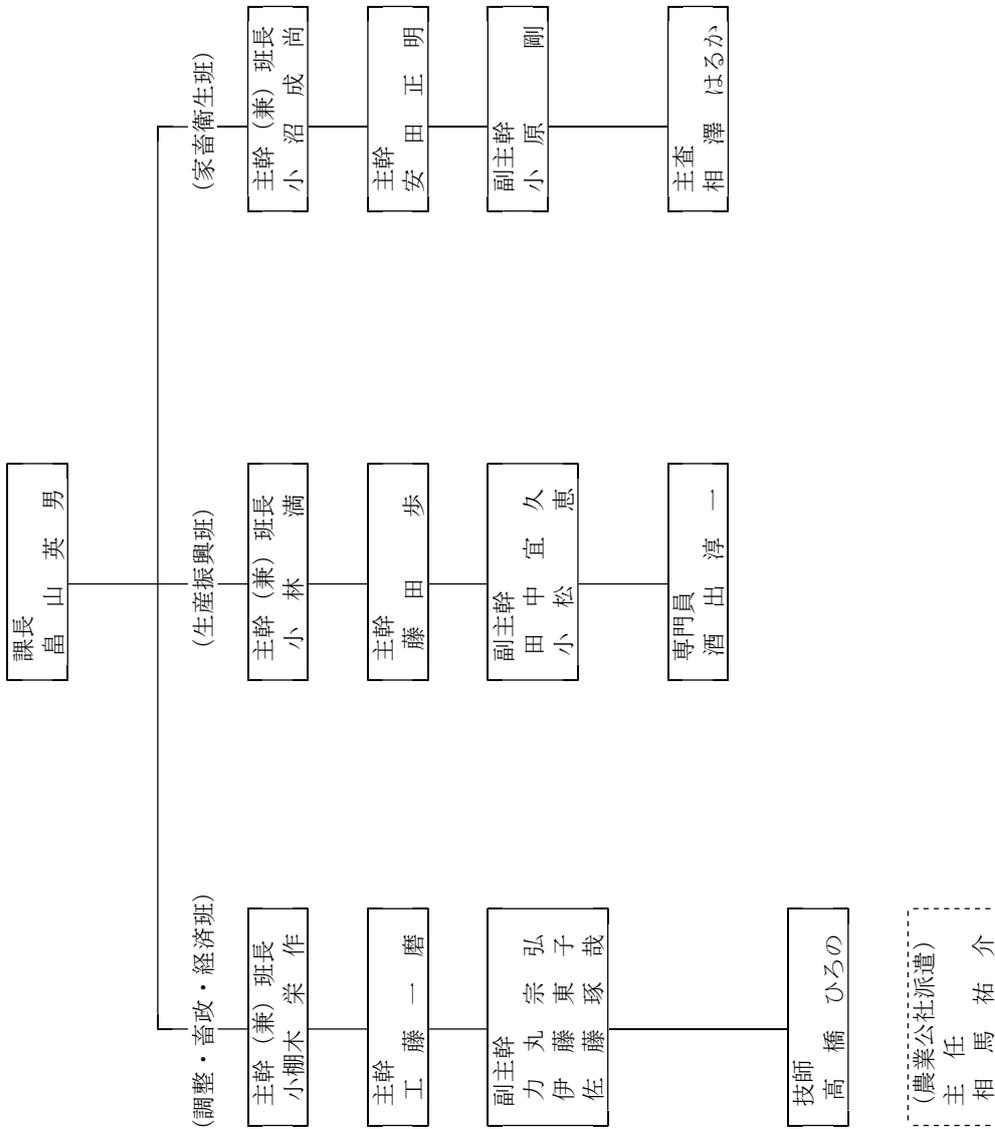


畜產振興課

畜産振興課

(令和2年4月1日現在)



各班の所掌事務

- (調整・畜政・経済班)
- ・ 秋田牛ブランドの確立
 - ・ 比内地鶏の振興及び認証制度
 - ・ 畜産クラスター事業
 - ・ 畜産経営安定対策
 - ・ 畜産関係資金・補助事業
 - ・ 畜産物の輸出促進
 - ・ 養蜂振興
 - ・ 特用家畜振興 (めん羊)

- (生産振興班)
- ・ 肉用牛の生産振興
 - ・ 大規模肉用牛団地の整備・支援
 - ・ 家畜の改良・増殖、種雄牛造成
 - ・ 受精卵移植の推進
 - ・ 酪農振興及び乳業関連事業
 - ・ 畜産公共事業
 - ・ 飼料作物の増産

- (家畜衛生班)
- ・ 家畜衛生・家畜伝染病予防
 - ・ 獣医事・薬事
 - ・ 獣医師職員確保対策
 - ・ 家畜排せつ物対策

事業名	畜産制度資金融通助成事業（経常経費）		担 当	調整・畜政・経済班	
事業年度	昭和63～	事業主体	融資機関（農業協同組合）等	当初予算額	252 千円
事業目的	畜産農家に制度資金を融通した融資機関に対して、利子補給金を交付し農家負担を軽減することにより畜産農家の経営の安定を図るとともに、保証の円滑化を促進するため、代位弁済する保証機関に対し、助成を行う。		財 源 内 訳	一 般	252 千円
実施内容	1 畜産経営改善支援資金特別融通助成事業		14千円（○14）		
	（1）畜産経営改善支援資金				
	①対象となる貸付	平成14～15年度分	（利子補給期限：令和5年度）		
	②貸付条件	償還期間15～25年	（うち据置期間3～5年）	利子補給率 0.12%	
	③利子補給見込額（県 → 融資機関）	13,754円			
	④利子補給対象金融機関数	2 J A			
	2 特別支援資金利子補給事業		202千円（○202）		
	（1）畜産経営維持緊急支援資金				
	①対象となる貸付	平成21～22年度分	利子補給期限：令和17年度		
	②貸付条件	償還期間 15～25年	（うち据置期間3～5年）	利子補給率 0.06%	
③利子補給見込額（県 → 融資機関）	171,276円				
④利子補給対象金融機関数	7 J A				
（2）畜産経営改善緊急支援資金					
①対象となる貸付	平成27年度分	利子補給期限：令和23年度			
②貸付条件	償還期間 15～25年	（うち据置期間3～5年）	利子補給率 0.06%		
③利子補給見込額（県 → 融資機関）	23,760円				
④利子補給対象金融機関数	1 J A				
（3）大家畜・養豚特別支援資金					
①貸付実行期間	令和2年度～				
②貸付条件	償還期間 15～25年	（うち据置期間3～5年）	利子補給率 0.06%		
③利子補給見込額（県 → 融資機関）	5,000円				
	（R2年新規貸付分1億円に対する利子補給見込額=100,000千円×0.06%×1/12月=5千円）				
	【債務負担行為の設定】				
	融資元本1億円に対する利子補給金 930千円（令和3～27年度）				
3 県事務費		36千円（○36）			
	指導事務費 36千円（3,000円×12カ月）				

事業名	畜産経営改善指導事業（経常経費）			担当	調整・畜政・経済班 生産振興班 家畜衛生班		
事業年度	平成20～	事業主体	県	当初予算額	16,950 千円		
事業目的	畜産農家の経営改善を図るとともに、畜産振興に関する諸指導事業を推進する。			財源	使用料	597 千円	
				内訳	財	産	1,417 千円
					諸収入		7,861 千円
					一 般		7,075 千円
実施内容	<p>1 畜産振興諸指導事業 12,303千円（Ⓔ 597、Ⓔ 1,417、Ⓔ 7,861、⊖ 2,428）</p> <p>畜産振興に係る諸指導事業等に要する経費</p> <p><歳入内訳></p> <p>(1) 使用料・手数料 597千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつばち転飼許可手数料 @2,300円×245カ所=563,500円 ・牛受精卵移植師免許証の交付申請手数料 @1,700円× 10件= 17,000円 ・豚人工授精師免許証の交付申請手数料 @1,800円× 4件= 7,200円 ・家畜市場登録証書換手数料（@3,800円×1件）、ふ化業者登録手数料（@7,900円×1件） <p>(2) 財産収入 1,417千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地貸付収入（旧固形粗飼料生産利用試験用地 993千円、旧ぶな森牧場用地 424千円） <p>(3) 諸収入 7,861千円</p> <p>①受託事業収入 4,367千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業資金調査委託費 128千円 ・畜産振興事業補助業務委託 1,908千円 ・加工原料乳生産者補給金交付業務委託費 680千円 ・肉用子牛生産者補給金等事務委託費 1,309千円 ・畜産振興補助事業補助業務委託費 105千円 ・畜環リース事業推進業務委託費 122千円 ・種畜検査受託事業収入 115千円 <p>②雑入 3,494千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛受精卵移植師講習会受講料 600千円 ・豚人工授精師講習会受講料 400千円 ・雇用保険料個人負担分 17千円 ・大潟村土地改良区負担金 2,477千円 <p>2 自給飼料対策指導事業 475千円（⊖ 475）</p> <p>(1) 地域に適した草種・品種の選定のための調査、奨励品種の展示ほ等を使った技術指導等を実施</p> <p>(2) 飼料安全法に基づいた立入調査・巡回指導及び流通飼料の検査を実施</p> <p>3 畜産経営改善促進事業 4,172千円（⊖ 4,172）</p> <p>畜産農家の経営体質の強化を図るため、経営感覚に優れた効率的で生産性の高い経営体の育成を推進する。</p> <p>(1) 実践支援チームの組織化と畜産経営に対する支援指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践支援チーム設置委員会の開催 ・個別経営体診断指導や相談窓口の設置 等 <p>(2) 畜産関係情報のデータベース化と情報提供体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットなどを活用した各種情報体制の整備 ・畜産経営と技術情報等のデータベース化 <p>(3) 委託先 （公社）秋田県農業公社</p>						

事業名	比内地鶏販売拡大推進事業【農林漁業振興臨時対策基金】		担当	調整・畜政・経済班	
事業年度	平成20～令和10	事業主体	県	当初予算額	8,508千円
事業目的	秋田県比内地鶏ブランド認証制度の適切な運用により、比内地鶏ブランドの信頼性を維持するとともに、販路開拓や消費拡大及び比内地鶏生産の高位平準化に向けた取組を実施する。また、生産体制の維持・拡大に向け、初生ひなの新たな性別判別法を確立する。		財源内訳	繰入金	8,252千円
				諸収入	256千円
実施内容	1 比内地鶏ブランド強化推進事業		1,065千円 (ⓐ1,065)		
	比内地鶏ブランドに対する消費者等の信頼に応え、ブランドの優位性を維持するために「秋田県比内地鶏ブランド認証制度」を適切に運用するため、立入検査やDNA識別検査等を行う。				
	(1) 認証制度推進事務		857千円		
	①申請受付、現地調査、認証票交付等 ②自己点検としてDNA識別の実施 ・県内認証施設、東京等の店頭からのサンプリング：60検体 ③ブランド認証推進委員会の開催				
(2) ブランド認証推進協議会の活動推進		208千円			
・総会及び研修会の開催：令和3年3月予定					
2 比内地鶏販売促進事業		4,643千円 (ⓐ4,643)			
比内地鶏の需要創出と認知度向上を図るため、首都圏等における消費拡大に取り組むほか、県内事業者が実施する試食宣伝会等の販売促進活動への支援や品質の高位平準化を推進する。					
(1) 料理教室を核とした首都圏等におけるプロモーション		2,859千円			
・委託先：民間企業					
(2) 販売促進活動支援		1,432千円			
① 定期的な試食宣伝会などのプロモーション活動		1,192千円			
・補助率：1/4以内					
② 輸出向け高度衛生管理食鳥処理体制の整備		240千円			
・補助率：1/2以内					
(3) 品質の高位平準化		224千円			
・比内地鶏生産農家に対する飼育技術の指導等					
(4) あきたシャポンのPR		128千円			
・首都圏の高級飲食店における試食宣伝：1カ所					
3 「ストロングポイント」普及定着事業		1,645千円 (ⓐ1,645)			
機能性等のストロングポイントの普及・定着を図るため、県内プロスポーツチームと連携したPR活動を行う。					
・スタジアム広告（ロゴマークの掲出）及び冠マッチの開催					
4 羽性鑑別基礎種鶏群作出事業		1,155千円 (ⓐ256 ⓑ899)			
比内地鶏の長期的な生産体制の維持・拡大と生産コストの低減のため、初生ひなの性別を羽根の長短により簡易に判別できる素雛を生産するため、種鶏を改良する。					
① 基礎種鶏群作出のための遺伝子解析等		506千円			
種鶏群が有する羽根の発育性に関与する遺伝子解析等					
② 基礎種鶏群の飼養管理		649千円			
飼育に要する飼料費等					

事業名	秋田県獣医師職員確保対策事業		担当	家畜衛生班
事業年度	平成22～	事業主体	県、家畜衛生対策推進協議会ほか	
事業目的	本県の獣医師職員が不足しているため、県内の高校生や獣医系大学の学生及び獣医師免許取得者（以下、学生等という。）に対し、本県への就職を条件とした修学資金の給付や業務の意義・魅力を多方面からPRすることにより学生等を本県に誘引し、職員を確保する。	財源	一般	15,880 千円
		内		
		訳		
実施内容	1 地域枠産業動物獣医師養成確保事業 3,267千円 (○3,267)		高校3年生（県が選考し、私立獣医大学の地域枠推薦入学試験に合格した者）に対し、大学卒業後の本県農林水産部への勤務を条件に修学資金を貸与する。	
	(1) 地域枠産業動物獣医師修学資金 3,035千円		家畜衛生対策推進協議会が実施している「獣医師養成確保修学資金貸与事業」を活用し、私立獣医大学の地域枠推薦入学試験に合格した高校3年生に対し、入学前に大学へ納付する入学金等（上限1,750千円）と入学後の修学資金（月額180千円）を事業実施主体と県が各々1/2を負担し、貸付する。	
	① 事業実施主体 家畜衛生対策推進協議会（事務局：（公社）中央畜産会）			
	② 入学金等 1,750千円 × 1/2 × 1人 = 875千円			
③ 修学資金 180千円 × 12カ月 × 1/2 × 2人 = 2,160千円（H31、R2から大学生となる各1名）				
(2) 高校生に対する産業動物獣医師のPR等 232千円				
県内の高校生に対し農林水産部の獣医師職員の業務や修学資金制度についてPRし活用を推進する。				
・PR資料作成及び旅費 232千円				
2 獣医師修学資金給付事業 11,880千円 (○11,880)				
獣医学科に在学している学生に対し、大学卒業後の本県勤務を条件に修学資金を貸与する。				
(1) 産業動物獣医師修学資金の貸与 5,400千円				
(公社)秋田県農業公社の「産業動物獣医師修学資金貸与事業」を活用し、月額180千円を上限に、事業実施主体と県が各々1/2を負担し貸与する。（農林水産部への勤務を希望する者を対象とする。）				
① 事業実施主体 (公社)秋田県農業公社				
② 修学資金 180千円 × 1/2 × 12カ月 × 5人 = 5,400千円				
(2) 獣医学生修学資金の貸与 6,480千円				
「秋田県獣医学生修学資金貸与条例」により、本県への就職を条件として、月額180千円を上限に修学資金を貸与する。				
① 事業実施主体 県				
② 修学資金 180千円 × 12カ月 × 3人 = 6,480千円				
3 受験者確保対策事業 475千円 (○475)				
獣医大学の学生等に対し獣医師職員の業務の意義や魅力を多方面からPRし、本県への就職を誘引する。				
(1) インターンシップ受入支援 40千円				
(2) 獣医系大学への事業PR 271千円				
(3) 採用試験の実施 18千円				
(4) 高校生向け体験研修 146千円				
4 産業動物臨床獣医師連携体制構築モデル事業 258千円 (○258)				
獣医師不足を補うため、家畜保険衛生所職員と産業動物臨床獣医師が実施する牛大規模農場の繁殖検診や公共牧場等での衛生検査において、効率的な検診や治療ができる体制を構築する。				
(1) 牛大規模農場繁殖検診：検診時使用消耗品 136千円				
(2) 公共牧場等の衛生検査：産業動物獣医師への手当 122千円				

事業名	肉用牛経営緊急支援対策事業			担当	調整・畜政・経済班	
事業年度	平成23～令和2	事業主体	県	当初予算額	13,362 千円	
事業目的	平成23年度に放射性物質により汚染された稲わらが流通し、それを給与した肥育牛の牛肉からも放射性物質が検出され、枝肉価格が大暴落するなど本県の畜産業にも大きな影響を与えた。このため、本県産牛肉の安全性を確認するため、牛肉の放射性物質検査を行う。			財源内訳	一般	13,362 千円
実施内容	1 県産牛肉の安全確保対策事業 13,362千円 (○13,362)					
	県内でと畜される県産牛肉の円滑な流通を図るため、放射性物質検査を実施する。 (1) 県産牛肉全頭検査事業 13,326千円 ・検査委託先 (株)秋田県分析化学センター 放射性物質検査委託費 2,970円×3,800頭=11,286千円 ・サンプル採取委託先 (株)秋田県食肉流通公社 採取委託費 170,000円×12カ月= 2,040千円 (2) 飼料等精密検査事業 36千円 生乳等について、放射性物質検査を実施する。 検査機関 県健康環境センター 需用費 3,000円×12検体=36千円					

事業名	秋田牛ブランド確立推進事業【農林漁業振興臨時対策基金】			担当	調整・畜政・経済班	
事業年度	平成30～令和3	事業主体	県、ブランド推進協議会	当初予算額	10,764 千円	
事業目的	オール秋田の県産牛ブランド「秋田牛」の有利販売と全国メジャー化を図るため、県内外において「秋田牛」ブランドの浸透を図るとともに、品質向上によるブランド力の強化に取り組む。			財源内訳	繰入金	10,764 千円
実施内容	1 秋田牛ブランド確立推進事業					
	(1) 首都圏等県外におけるブランド認知度向上 4,506千円 ① 県外の大手食肉事業者等を対象としたトップセールス、キャンペーン、産地調査の実施 ② 著名飲食店における秋田牛メニュー化の推進 7店舗 (補助率 1/4以内) (2) 県内におけるブランドイメージの定着 3,347千円 ① 飲食店等での秋田牛フェア、小売店等での販売促進キャンペーンの実施 ② ギフトシーズンにおけるキャンペーンの実施 ③ 小売店等での情報発信力の強化 (PR資材の作成) (3) 秋田牛の品質向上によるブランド力の強化 2,911千円 ① 秋田牛の品質をアピールするための枝肉共励会の開催 ② ブランド確立に向けた研修会の開催、肉用牛情報 (秋田牛便り) の発信					

事業名	大規模肉用牛団地整備事業 【農林漁業振興臨時対策基金】		担 当	生産振興班															
事業年度	平成27～	事業主体	県、畜産クラスター協議会、肉用牛経営体	当初予算額	14,260 千円														
事業目的	「秋田牛」の生産基盤の拡大と肉用牛による地域農業の活性化を図るため、大規模肉用牛団地の整備及び素牛導入に対して支援する。		財	繰入金	14,260 千円														
			源																
			内																
			訳																
実施内容	1 事業計画策定支援事業 200千円 大規模肉用牛団地を整備する肉用牛農家等への的確なアドバイスを行うため、現地支援会議を開催するとともに、円滑な施設整備等を支援する。 (1) 実施内容 施設整備に向けた経営分析、指導等 (2) 対象地区 秋田、由利、仙北 (3) 実施主体 県																		
	2 施設整備事業 大規模肉用牛団地の早期経営安定を図るため、整備に要する経費に対して助成する。																		
<p>※令和2年度実施分は令和元年度2月補正予算（国補正予算対応分）で計上（繰越）</p> <p>(1) 予算額 309,131千円（㊦280,409 ㊧28,722）</p> <p>(2) 助成対象 用地造成、牛舎等施設の整備等に要する経費</p> <p>(3) 実施地区</p> <p>① 取組主体 （農）大進農場（男鹿市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備内容 肥育牛舎2棟、堆肥舎2棟、飼料庫兼管理棟1棟、用地造成等（肥育牛70→400頭） ・事業費 458,620千円（税込み） ・補助金 208,461千円（㊦189,848、㊧18,613） <p>② 取組主体 加藤雄大（由利本荘市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備内容 繁殖牛舎1棟、堆肥舎1棟、実施設計一式（繁殖牛0→50頭） ・事業費 92,768千円（税込み） ・補助金 42,165千円（㊦40,541、㊧1,624） <p>③ 取組主体 草薨畜産（株）（大仙市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備内容 繁殖牛舎1棟、堆肥舎1棟、用地造成等（繁殖牛50→100頭） ・事業費 128,715千円（税込み） ・補助金 58,505千円（㊦50,020、㊧8,485） <p>(4) 補助率 1/2以内</p>																			
実施内容	3 経営確立支援事業 14,060千円 大規模肉用牛団地を整備する経営体が、確実に規模拡大を図り、早期に経営安定できるよう、秋田牛の素牛導入を支援する。 (1) 実施主体 肉用牛経営体 (2) 実施内容																		
	<p>① 繁殖素牛導入支援 13,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象 45頭 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;">内訳</td> <td style="padding: 0 10px;">由利</td> <td style="padding: 0 10px;">（株）たかはし畜産</td> <td style="padding: 0 10px;">20頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>仙北</td> <td>（株）茂木農場</td> <td>15頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>草薨畜産（株）</td> <td>10頭</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 1/3以内（上限 黒毛和種300千円/頭） <p>② 肥育素牛導入支援 560千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象 40頭 <li style="margin-left: 20px;">（内訳 秋田 （農）大進農場 40頭） ・補助率 利子相当額の1/2以内（上限14千円/頭） （@1,000千円/頭×1.7%×20/12月×1/2≒14千円） 		{	内訳	由利	（株）たかはし畜産	20頭			仙北	（株）茂木農場	15頭			〃	草薨畜産（株）	10頭		
{	内訳	由利	（株）たかはし畜産	20頭															
		仙北	（株）茂木農場	15頭															
		〃	草薨畜産（株）	10頭															

事業名	秋田牛生産総合対策事業 【農林漁業振興臨時対策基金】		担当	生産振興班ほか
事業年度	平成30～令和4	事業主体	県、あきた総合家畜市場、和牛改良組合他	
事業目的	本県肉用牛の生産拡大とブランド力強化に向け、生産基盤となる遺伝的能力向上と肉用牛生産者の意欲向上に総合的に取り組み、令和4年に鹿児島県で開催される全国和牛能力共進会での上位入賞に向けた出品対策を推進し、肉用牛産地としての全国評価向上を図る。	財源	財 産	76,958 千円
			繰入金	20,376 千円
			内 諸収入	55,607 千円
			訳	975 千円
実施内容	1 肉用牛改良・増産意欲向上事業	1,894千円 (Ⓐ 1,894)		
	(1) 繁殖農家と肥育農家が連携した取組の推進			
	① 繁殖・肥育連携肉用牛推進会議 5カ所(雄勝、平鹿、仙北、由利、県北・中央)			
	② 推進チームによる重点指導			
	(2) 肉用牛改良・増産意欲の向上対策			
	① 畜産共進会への出品意欲向上対策			
	② 「あきたの畜産・市場まつり」の開催助成			
	2 繁殖雌牛資質向上事業	55,622千円 (Ⓐ 20,376、Ⓑ 975、Ⓒ 34,271)		
	(1) 優良繁殖雌牛の保留支援			
	① 子牛の市場調査及び庭先調査による優良雌牛の早期発掘			
	② 優良繁殖素牛の確実な県内保留奨励 対象50頭、保留推奨金100千円/頭			
	(2) 優良繁殖雌牛の活用による改良の推進			
	① 改良始祖牛(繁殖雌牛)導入助成による資質向上支援 対象10頭、補助率1/2以内(上限600千円/頭)			
	② 過年度の県外導入牛雌牛の利用促進(受精卵採取等)			
	(3) 受精卵の安定供給と繁殖技術向上支援			
	① 受精卵移植の推進 受精卵 230個			
	② 超音波画像診断装置の導入 1台			
	③ 繁殖技術の向上支援 県有牛飼養管理委託 46頭			
	3 新たな肉用牛生産体制確立事業	493千円 (Ⓐ 493)		
乳用交雑種雌を活用した黒毛和種の子牛生産実証				
・二卵移植技術の検討				
4 種雄牛造成事業	12,852千円 (Ⓐ 12,852)			
(1) 産肉能力と種牛性を兼ね備えた種雄牛の造成				
① 産肉能力検定				
② 牛肉中のオレイン酸含量等、新たな指標による基礎牛の選定及び候補種雄牛の選抜				
(2) 新技術による効率的な作出法の検討				
① ゲノム育種価の活用				
② 性判別精液を利用した種雄牛候補の効率的生産				
5 全共出品技術向上事業	6,097千円 (Ⓐ 6,097)			
(1) 種牛の部出品技術向上の取組				
① 調教技術講習会の実施				
② 飼養管理技術研修会				
③ 全共用優良若雄・雌牛の作出				
・高能力雌牛の借上 (@100千円×3頭)				
・若雄・雌牛生産対策助成 (@70千円×50頭)				
(2) 肉牛の部出品技術向上の取組				
① 若齢肥育技術の検討				
・肥育牛輸送ストレス確認 3頭				
② 超音波肉質診断技術の向上				

事業名	肉用牛肥育経営維持拡大対策事業 【農林漁業振興臨時対策基金】		担当	生産振興班	
事業年度	平成26～令和2	事業主体	農業協同組合等	当初予算額	14,310千円
事業目的	子牛価格や配合飼料価格の高騰による肥育農家の負担軽減を図るため、JA等が行う肥育牛預託の無利子化等への取組に対し支援する。		財源内訳	繰入金	14,310千円
実施内容	<p>1 肉用牛肥育経営維持拡大対策事業 14,310千円 (ⓐ14,310)</p> <p>子牛価格や配合飼料価格の高騰による肥育農家の負担軽減を図るため、JA等が行う肥育預託の無利子化への取組に対し支援する。</p> <p>(1) 事業主体 9農協等 (JAかづの、JA秋田なまはげ、JA秋田しんせい、JA秋田おぼこ、JA秋田ふるさと、JAこまち、JAうご、県畜協、県家畜商協)</p> <p>(2) 利子補給率 1/2以内</p> <p>(3) 補給対象及び補給額</p> <p>①令和2年度補助金交付 預託牛の販売等により預託代金の精算で確定した利子補給額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度預託開始、R2年度精算分 $560頭 \times 810千円 \times 2.0\% \times 20/12月 \times 1/2 = 7,560千円$ ・H31年度預託開始、R2年度精算分(利率率1.8%を補助上限とする) $500頭 \times 900千円 \times 1.8\% \times 20/12月 \times 1/2 = 6,750千円$ <p style="text-align: center;">計 14,310千円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【債務負担行為の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度預託開始、R3年度精算分(利率率1.7%を補助上限とする) $550頭 \times 1,000千円 \times 1.7\% \times 20/12月 \times 1/2 = 7,792千円$【R3事業費】 ・R2年度預託開始、R4年度精算分(利率率1.7%を補助上限とする) $650頭 \times 1,000千円 \times 1.7\% \times 20/12月 \times 1/2 = 9,208千円$【R4事業費】 <p style="text-align: center;">計 17,000千円 (ⓐ7,792、ⓑ9,208)</p> </div> <p>②発動要件 [発動基準：520千円] 価格高騰前(H25年度)の子牛の平均価格 ※ 四半期毎に発動を判断。当該四半期の直近12カ月の平均子牛価格が発動基準を上回った場合発動</p>				

事業名	若い担い手の和牛力向上支援事業 【農林漁業振興臨時対策基金】		担当	生産振興班	
事業年度	令和2～	事業主体	県	当初予算額	9,610千円
事業目的	規模拡大や新規就農などにより飼養管理に不安を持つ若い担い手のフォローアップと繁殖能力の高い「ふくはな5」系統の雌牛の増殖による生産性の向上を図り、本県の肉用子牛の生産基盤を強化する。		財源内訳	繰入金	9,610千円
実施内容	<p>1 若い担い手のフォローアップ事業 2,216千円</p> <p>(1) 若い担い手への重点指導(繁殖、衛生)による早期経営安定</p> <p>①超音波画像診断装置の導入 1台</p> <p>②繁殖及び衛生管理技術向上の支援(繁殖検診等の巡回指導)</p> <p>(2) 「あきた牛飼い塾」開催等による若い担い手のスキルアップ 大規模モデル経営体等重点指導</p> <p>(3) 担い手の裾野拡大に向けた未就農者の体験研修 県内の農業高校生等を対象に飼養体験を実施 10人</p> <p>2 秋田のオリジナル系統(ふくはな5)の普及拡大事業 7,394千円</p> <p>(1) 「ふくはな5」系統雌牛の導入 県内で飼養されている「ふくはな5」系統の雌牛を導入 4頭</p> <p>(2) 「ふくはな5」系統の飼養管理委託 委託先 (公社)秋田県農業公社</p>				

事業名	あきたの酪農推進対策事業 【農林漁業振興臨時対策基金】			担当	生産振興班
事業年度	平成30～	事業主体	県、JA全農あきた、県出品委員会他	当初予算額	28,834 千円
事業目的	酪農経営の体質強化と生乳生産の維持拡大のため、牛群改良を推進するとともに、規模拡大や高能力後継牛の確保による生乳生産性の向上を図る取組を支援する。	財源内訳		繰入金	26,993 千円
				一般	1,841 千円
実施内容	1 酪農生産性向上対策事業	1,841千円 (⊖1,841)			
	生乳の生産量や乳質、飼養管理技術の向上を図るため、牛群検定の取組を支援するとともに、牛群検定情報の分析やデータの活用を促進し、牛群の改良を推進する。				
	(1) 牛群検定推進事業	1,302千円			
	・牛群検定の取組に対する支援 事業実施主体 全国農業協同組合連合会秋田県本部				
	(2) 酪農生産性向上支援事業業務委託	539千円			
	・牛群検定データの分析及び分析情報を活用した指導等 委託先 日本ホルスタイン登録協会秋田県支部				
	2 酪農経営確立支援事業	24,300千円 (⊕24,300)			
	酪農経営の体質強化と生乳生産の拡大を図るため、乳用初妊牛の導入及び高能力牛確保に向けた取組を支援する。				
	(1) 乳用初妊牛導入支援	23,200千円			
	① 助成対象 大規模酪農経営体が導入する乳用初妊牛(拡大分のみ) ② 補助率 1/4以内(上限200千円/頭)				
(2) 高能力後継牛確保対策	1,100千円				
① 助成対象 精液購入費及び授精技術料(220頭分) ② 補助率 1/3以内(上限5千円/頭)					
3 第15回全日本ホルスタイン共進会出品支援事業	2,693千円 (⊕2,693)				
乳用牛の生産性向上に向けた改良を推進するため、本共進会の出品に要する経費の一部を支援する。					
(1) 県負担金	1,182千円				
・出品牛8頭分					
(2) 出品に係る助成	899千円				
・助成対象 出品牛の輸送経費等 ・補助率 1/3以内					
(3) 県推進費	612千円				
・出席旅費(県職員分)					

事業名	畜産競争力強化対策事業			担 当	調整・畜政・経済班		
事業年度	平成28～令和27	事業主体	畜産クラスター協議会、金融機関	当初予算額	208 千円		
事業目的	国の畜産競争力強化対策に基づいて、畜産クラスター協議会が策定した「畜産クラスター計画」に位置づけられた中心的な経営体の収益性の向上や畜産環境問題への対応に必要な施設整備を支援する（市町村を通じた間接補助）。			財 源	国 庫	0 千円	
				内 訳	諸収等	0 千円	
					繰入金	0 千円	
					一 般	208 千円	
実施内容	1 畜産競争力強化対策整備事業						
	地域ぐるみで畜産の収益性の向上を図るため、中心的な役割を担う畜産経営体等の施設等を整備する取組を支援する。						
	※令和2年度実施分は令和元年度2月補正予算（国補正予算対応分）で計上（繰越）						
	（1）養鶏経営における競争力強化対策 189,230千円（◎180,230）						
	① 実施主体 大仙・仙北・美郷地域畜産クラスター協議会						
	② 取組主体 （有）藤原養鶏場（仙北市角館）						
	③ 整備内容 成鶏舎1棟（採卵鶏 60万羽 → 70万羽）						
	④ 事業費 396,506千円						
	2 畜産経営体質強化支援資金利子補給事業 208千円（◎ 208）						
	新たな投資を促進するための長期低利資金「畜産経営体質強化支援資金」の融通に必要な地元負担の利子補給について、県・市町村・融資機関の連携により対応する。						
本資金はTPP対策の一環として、国が平成28年度に創設したもので、競争力強化に向けた新規投資の計画を有することが融資の要件となっている。							
（1）利子補給率及び貸付利率（平成30年11月末貸付時点）							
基準金利		利子補給率				貸付利率	
		中央畜産会	地元負担				
				県	市町村	融資機関	
1.40%	1.25%	1.01%	0.24%	0.08%以内	0.08%以内	0.08%以上	0.10%
※貸付当初5年間は中央畜産会の追加利子補給0.10%で無利子化。令和元年12月2日時点の利率。							
（2）令和2年度予算の内容							
① 平成28年度融資分							
・融資実行額 47,667千円（平成28年11月30日貸付）							
・利子補給額 39千円（47,667千円×県利子補給額0.08%＝38,133円）							
② 平成30年度融資分							
・融資要望額 201,888千円（平成30年11月30日貸付）							
・利子補給額 162千円（201,888千円×県利子補給額0.08%＝161,510円）							
③ 令和2年度融資分							
・融資要望額 100,000千円（令和2年11月末貸付を想定）							
・利子補給額 7千円（100,000千円×県利子補給額0.08%×1/12カ月＝6,667円）							
【債務負担行為の設定】							
融資元本1億円に対する利子補給金 1,240千円（令和3～27年度）							

事業名	比内地鶏大規模モデル経営体育成事業【農林漁業振興臨時対策基金】		担当	調整・畜政・経済班	
事業年度	平成30～令和2	事業主体	認定農業者、認定就農者等		
事業目的	比内地鶏の安定的な生産拡大と品質の高位平準化を図るため、比内地鶏に主業・専業で取り組もうとする者による規模拡大の取組を重点的に支援し、比内地鶏の生産構造の改革を推進する。		財源	当初予算額	11,817 千円
			内訳	繰入金	11,817 千円
実施内容	<p>1 比内地鶏大規模モデル経営体育成事業 11,817千円</p> <p>円滑な事業推進と早期の経営安定を図るため、大規模経営体を目指す担い手の施設整備等に要する経費に助成する。</p> <p>(1) 実施主体 認定農業者、認定就農者等 1経営体</p> <p>(2) 実施内容 鶏舎一式、堆肥舎 他</p> <p>(3) 補助率 1/2以内</p> <p>① 1経営体当たり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶏舎一式(2千羽規模) 7.5棟 ・県平均 5千羽 → 大規模経営体 20千羽(増分15千羽) ・堆肥舎 160.9㎡ <p>② 標準事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶏舎1式 2,250千円/棟 × 7.5棟 × 1/2 × 1件 = 8,438千円 ・堆肥舎 160.9㎡ × 42千円 × 1/2 × 1件 = 3,379千円 				

事業名	秋田牛輸出拡大強化事業【農林漁業振興臨時対策基金】		担当	調整・畜政・経済班	
事業年度	令和2～4	事業主体	県、(株)秋田県食肉流通公社		
事業目的	タイ・台湾における秋田牛の輸出拡大を図るとともに、台湾輸出向け食肉処理施設としての認定に必要な施設整備を支援する。		財源	当初予算額	40,164 千円
			内訳	繰入金	40,164 千円
実施内容	<p>1 秋田牛輸出推進事業 5,164千円</p> <p>輸出量の拡大と認知度向上を図るため、現地で試食会やフェアを開催する。</p> <p>(1) タイ向け輸出の拡大 2,167千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストラン関係者等を対象とした試食会の開催 ・レストランでの秋田牛フェアの開催と多様な部位の利用促進 ・東京オリンピック・パラリンピック大会における県内事前合宿でのPR <p>(2) 台湾向け輸出の拡大 2,997千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小売店等での販売促進キャンペーンの実施 ・取扱店情報を掲載した繁体字パンフレットの作成 <p>2 輸出向け食肉流通体制整備支援事業 35,000千円</p> <p>台湾輸出向けの認定基準を満たすために必要な(株)秋田県食肉流通公社の施設整備を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 と畜解体施設内の自動閉鎖扉の設置、天井・壁・床の改修等 ・補助率 1/2以内 ・事業主体 (株)秋田県食肉流通公社 				

事業名	草地畜産基盤整備事業			担当	生産振興班	
事業年度	平成22～	事業主体	県	当初予算額	146,529 千円	
事業目的	中山間地域等において、林地、野草地及び草地等の農用地を畜産的土地利用体系に再編整備し、草地造成改良や牛舎等の整備を行うことにより飼料自給率の向上と経営の拡大を図る。			財源内訳	国庫	135,854 千円
					一般	10,675 千円
実施内容	1 事業実施計画策定事業 4,000千円 (◎2,000、◎2,000)					
	令和3年度から実施を計画している仙北地区での草地整備に向けて、事業実施計画の策定等を実施する。					
	(1) 策定内容 草地整備改良等の整備計画					
	(2) 事業費 4,000千円 (うち委託費：農業公社3,400千円)					
	(3) 補助率 国1/2、県1/2					
	(4) 事業計画					
	① 事業実施年度 令和3～5年度					
	② 事業内容 草地整備改良(公共牧場) 30.5ha 等					
	2 草地林地総合整備型事業 96,943千円 (◎91,399、◎5,544)					
	中山間地域等において、林地、野草地及び草地等農用地を畜産的土地利用体系に再編整備し、草地改良や牛舎等の整備を行うことにより飼料自給率の向上と経営の拡大を図る。					
	(1) 実施地区 羽後2期地区(湯沢市・羽後町)					
	(2) 実施期間 平成30年度～令和4年度					
	(3) 事業内容					
① 草地整備改良4.9ha、施設用地造成0.08ha、畜舎2棟、堆肥舎1棟 166,180千円 (◎91,399)						
② 事業実施主体事務費(農業公社) 5,148千円 (◎5,148)						
③ 県事務費 396千円 (◎396)						
(4) 補助率：事業費 国55%以内、公社事務費 県10/10以内						
3 草地整備型公共牧場整備事業 45,586千円 (◎42,455、◎3,131)						
地域資源である草地基盤を整備し、草地整備改良やパドック等の整備を行うことにより、飼料自給率の向上と肉用牛・乳用牛の生産拡大による地域活性化を図る。						
(1) 実施地区 鹿角東部2期地区(鹿角市)、三種地区(三種町)						
(2) 実施期間 鹿角東部2期地区：平成31～令和3年度、三種地区：令和2～5年度						
(3) 事業内容						
○鹿角東部2期地区						
①草地造成改良2.0ha、草地整備改良15.0ha、用排水設備整備1式、測量設計 69,360千円 (◎34,680)						
○三種地区						
① 測量設計 15,550千円 (◎7,775)						
② 事業実施主体事務費(農業公社) 2,735千円 (◎2,735)						
③ 県事務費 396千円 (◎396)						
(4) 補助率 事業費 国50%以内、公社事務費 県10/10以内						

事業名	畜産環境総合整備事業			担当	生産振興班	
事業年度	平成22～	事業主体	県	当初予算額	4,000 千円	
事業目的	総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物のリサイクルシステムを構築することにより、畜産に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化を促進するとともに、良質な堆肥を耕種農家等へ還元し、地域農業の持続的な発展を図る。			財源内訳	国庫	2,000 千円
					一般	2,000 千円
実施内容	1 事業実施計画策定事業 4,000千円 (◎2,000、◎2,000)					
	令和3年度から実施を計画している美郷地区での施設整備等に向けて、事業実施計画の策定等を実施する。					
	(1) 策定地区 美郷2期地区					
	(2) 策定内容 家畜排せつ物処理施設等の整備計画					
	(3) 事業費 4,000千円 (うち委託費：農業公社3,400千円)					
	(4) 補助率 国1/2、県1/2					
(5) 事業計画						
① 事業実施年度 令和3～4年度						
② 事業内容 家畜排せつ物処理施設機能強化(発酵処理機1基、施設増築、運搬機械等)						

事業名	家畜保健衛生・安全対策推進事業（経常経費）		担当	家畜衛生班	
事業年度	昭和26～	事業主体	県、（公社）秋田県農業公社	当初予算額	62,955 千円
事業目的	家畜伝染性疾患の発生予防・まん延防止対策、畜産環境保全対策及び獣医事・薬事監視指導を行うことにより、本県畜産の生産性の向上と安全・安心な畜産物の生産を図る。		財源内訳	国庫	17,543 千円
				その他	5,244 千円
				一般	40,168 千円
実施内容	1 家畜伝染病予防事業		21,270千円（◎ 4,805、◎ 12,925、○ 3,540）		
	(1) 家畜伝染病予防法に基づく検査等を行い、家畜伝染病の発生予防及びまん延防止を図る。				
	①検査対象家畜 牛、馬、羊、豚、鶏、みつばち				
	②検査対象疾病等 ヨーネ病、BSE、牛白血病、豚コレラ、PRRS、オーエスキー病、鳥インフルエンザ、ニューカッスル病、ふそ病等				
	(2) 生産者からの依頼に基づく検査を行い、伝染性疾患の発生予防と生産性向上を図る。 ・放牧衛生検査、オーエスキー病検査、ふそ病検査、病理解剖 等				
	(3) 自衛防疫強化対策事業 家畜伝染性疾患の発生を未然に防止するため、組織的に行う予防接種に要する経費に対し、助成する。				
	①交付先 （公社）秋田県農業公社				
	②事業内容				
	・牛伝染性疾患発生予防 牛伝染性鼻気管炎発生予防（4,000頭）、牛アカバネ病発生予防（5,500頭）				
	・豚伝染性疾患発生予防 豚丹毒発生予防（46,800頭）				
・鶏伝染性疾患発生予防 ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎発生予防（2,000千羽）					
2 家畜保健衛生所管理運営費		37,996千円（◎ 3,081、◎ 115、◎ 47、○ 34,753）			
(1) 家畜保健衛生所の管理運営に要する経費					
(2) 機器整備 組織回転培養装置					
3 家畜衛生技術総合推進事業		3,689千円（◎ 277、◎ 1,537、○ 1,875）			
(1) BSE検査体制の強化					
(2) 飼養衛生管理基準等の推進、普及、啓発					
(3) 家畜衛生関連情報の収集					
(4) 精度管理体制の確立					
(5) 家畜伝染病まん延防止のための会議参加等					
(6) 安全な畜産物生産のためのモデル農場の指導、検査					
(7) 薬剤耐性菌の発現状況調査					
(8) 獣医事、薬事監視指導					
(9) 畜産環境保全巡回指導					
(10) 家畜保健衛生所の管理運営					

事業名	CSF等緊急防疫対策事業			担当	家畜衛生班	
事業年度	令和元～	事業主体	県	当初予算額	9,548千円	
事業目的	CSFおよびASFの発生に備え家畜保健衛生所の検査体制や迅速な初動防疫体制を構築し、本県養豚産業の安定的な振興を図る。			財源	国庫	4,572千円
					一般	4,976千円
実施内容	<p>1 検査体制整備事業 3,873千円 (◎1,795、◎2,078)</p> <p>CSFに関する特定家畜伝染病防疫指針の一部改正により、都道府県による野生イノシシのCSF及びASFの遺伝子検査が義務化されたことから、野生イノシシと飼養豚検査時の交差汚染を防止するための検査関連機器等を整備し、適切な検査体制を構築するほか、飼養豚の浸潤状況調査のための抗体検査を実施する。</p> <p>(1) 遺伝子検査機器・資材整備 1,764千円 (◎1,389、◎375)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子増幅装置 1台 ・遺伝子検査関連資材 等 <p>(2) 検査材料の保管施設整備 1,296千円 (◎1,296)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレハブ型冷凍庫室外機 1台 <p>(3) CSFウイルス浸潤状況調査 813千円 (◎406、◎407)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSF抗体検査用ELISAキット 7箱 					
	<p>2 まん延防止対策事業 5,675千円 (◎2,777、◎2,898)</p> <p>旅行客を介してCSF等が本県へ持ち込まれないよう、空港での靴底消毒を継続するとともに、県内で万一発生した場合、早急に殺処分をするために必要な機器・資材を整備する。</p> <p>(1) 空港におけるウイルス侵入防止対策 1,265千円 (◎631、◎634)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・靴底消毒関連消耗品 2空港分(マット等) 608千円 (◎303、◎305) ・消毒マット管理委託料 2空港分 657千円 (◎328、◎329) <p>(2) 発生農場ウイルス拡散防止 4,410千円 (◎2,146、◎2,264)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豚用電殺機 3台 3,960千円 (◎1,980、◎1,980) ・耐電性長靴・手袋等 450千円 (◎166、◎284) 					

事業名	県有地環境調査事業			担当	生産振興班	
事業年度	令和2	事業主体	県	当初予算額	6,071千円	
事業目的	県有地である大潟村旧固形粗飼料生産利用試験用地を農地として有効活用するため、当該地で営巣が確認されている絶滅危惧種「チュウヒ」について営巣状況等環境調査を実施する。			財源	一般	6,071千円
実施内容	<p>1 県有地環境調査事業 6,071千円 (◎6,071)</p> <p>大潟村にある県有地を農地として活用するため、稀少鳥類の生息状況について環境調査を実施する。</p> <p>(1) 実施期間 令和2年4～11月</p> <p>(2) 実施場所 大潟村字大潟8番地(面積:38.65ha)</p> <p>(3) 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境調査 定点観測、営巣地探索、繁殖状況確認、植生調査等 ②利活用検討委員会 農地利用に向けた調査結果の検討等 <p>(4) 委託先 民間調査会社</p>					